別紙2

概要版

（素案）

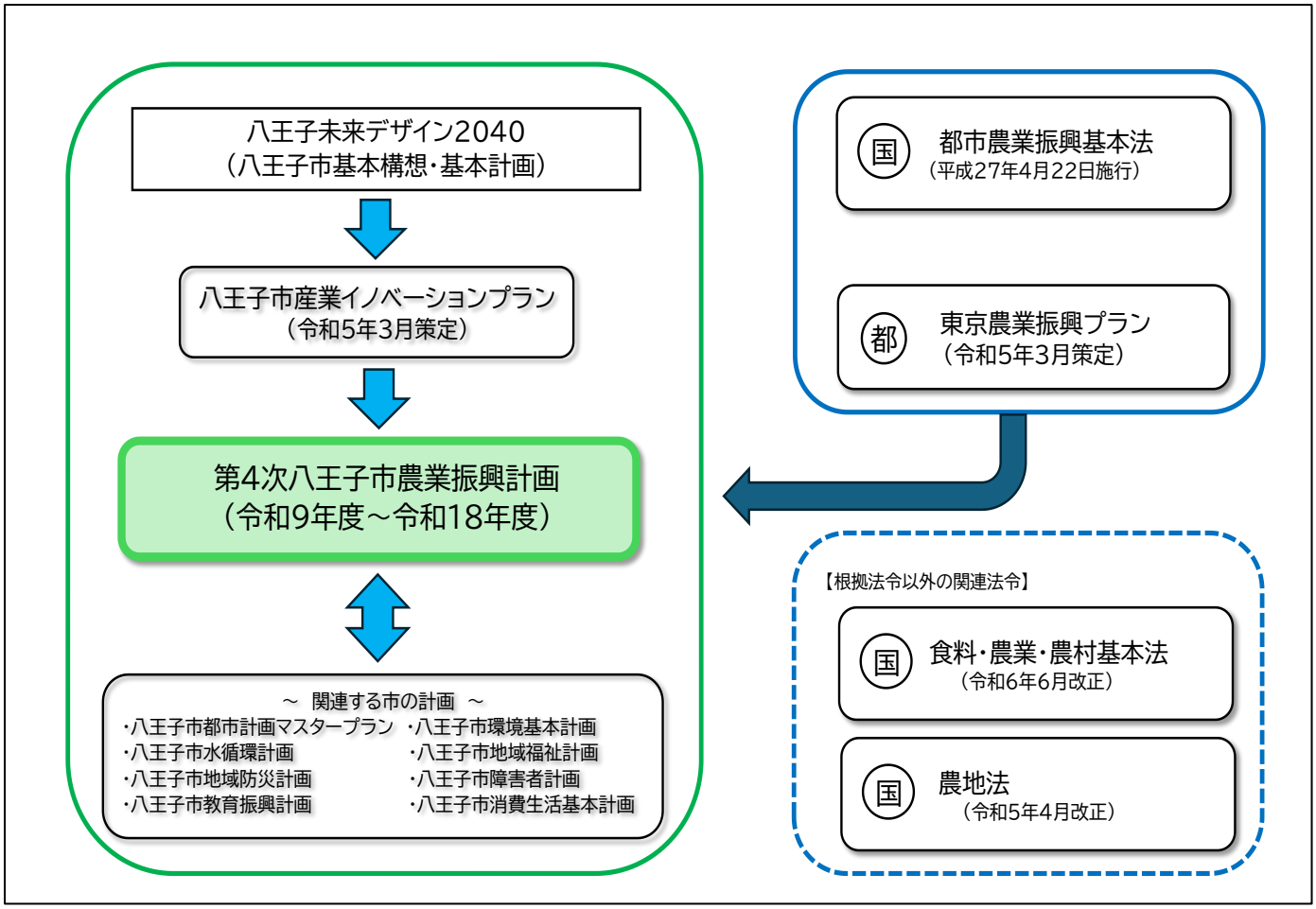
第4次八王子市農業振興計画

～好循環を生み出す活力ある都市農業～

令和9年（2027 年）　月

八　王　子　市

第4次八王子市農業振興計画の位置付け



1 農業振興計画の背景と目的

市ではこれまで、平成28年4月に策定した第3次八王子市農業振興計画「好循環を生み出す活力ある都市農業」に基づき、魅力と活力あふれる産業としての農業振興を図るため、様々な施策を展開してきました。

第4次農業振興計画においては、第3次農業振興計画の成果と課題を継承・発展させつつ、担い手の確保・育成と農業経営基盤の強化、農地の一層の保全と有効活用を図るとともに、都市近郊という立地特性を活かした高付加価値型農業や地産地消のさらなる推進を目指す必要があります。あわせて、環境負荷の低減や多面的機能の発揮、地域住民との共創を通じて、持続可能で魅力ある都市農業を確立し、将来にわたり地域を支える農業の実現を目的として本計画を策定し、さらなる農業の振興を図っていきます。

2　八王子農業の基本理念と将来像

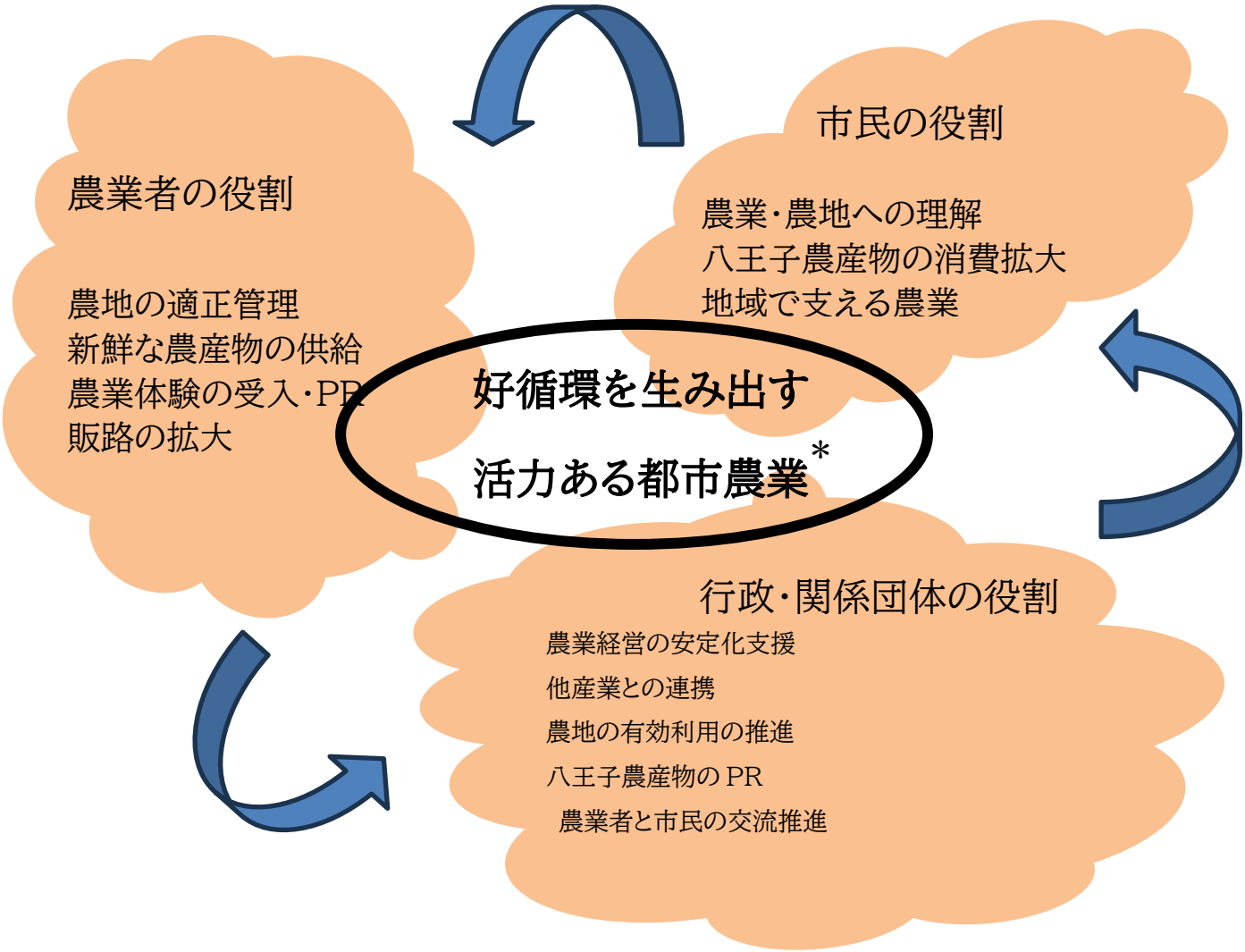
(1)八王子農業の基本理念

八王子市の豊かな農地と農業資源を守り活かしながら、担い手の育成・確保、農地の保全・活用、地産地消の推進を図り、市民との連携のもと持続可能な都市農業を次世代へ継承します。食料生産に加え、防災、環境保全、景観形成、食育など農業・農地の多面的機能を発揮し、地域とともに発展する魅力ある農業の実現を目指し、本計画の理念を次のように定めます。

「都市農業としての安定的な継続を図るとともに、農地の有効活用と多様な機能の発揮を図る。」こととします。

(2)八王子農業の将来像

「好循環を生み出す活力ある都市農業」を将来像とし、農業者、市民、行政、関係団体が連携して農地の保全と有効活用、担い手の育成、安定した農業経営の実現を推進します。また、環境に配慮した農業や東京型スマート農業の導入、地産地消や販路拡大、市民との交流を進め、多面的機能を活かした活力ある都市農業を次世代へ継承します。



＊農業者、市民、行政・関係団体が連携し、それぞれの取組が相互に支え合うことで、農業経営の安定、農地の保全、地産地消の推進、地域の魅力向上につながる好循環を生み出し、持続的に発展する活力ある都市農業のこと。

(3)施策の体系図

農業振興の将来

将来像:好循環を生み出す活力ある都市農業

基本理念:都市農業としての安定的な継続を図るとともに、農地の有効活用と多様な機能の発揮を図る

【柱1】意欲ある農業者の育成と確保

農業者の高齢化や担い手不足が進行する中、地域農業の持続的な発展を図るため、認定農業者や認定新規就農者をはじめとする中核的な担い手の育成・確保を進めるとともに、多様な担い手の参画を促進します。認定農業者については、経営改善計画の達成に向け、関係機関と連携しながら経営の安定化や生産性の向上、農地の集積・集約化などを支援します。

【柱2】 農地の保全と活用促進

農業振興地域及び生産緑地の保全を基本に、地域計画に基づく農地利用の最適化や農地バンク等を活用した農地の集積・集約化を推進します。また、遊休農地の解消と有効活用を図るとともに、農道・水路等の営農環境の維持保全を図りながら、防災・環境保全・景観形成など都市農地の多面的機能の発揮及び気候変動を踏まえた基盤整備を進めます。

【柱3】 持続可能な農業生産と付加価値農業・地産地消の推進

新鮮で安全・安心な農畜産物の安定供給を基盤に、環境保全型農業や東京型スマート農業を推進します。道の駅八王子滝山や庭先直売所の機能強化、学校給食等への利用拡大により地産地消を促進するとともに、6次産業化やブランド化による付加価値向上を図ります。また、各種農業体験を通じた食農教育を推進し、市民と農業のつながりを深め、持続可能な地域農業の実現を目指します。

【柱4】 地域で共創する農業の推進

地域農業の維持・発展に向け、市民の農業参加を促進するとともに、体験農園や観光農園の普及を図ります。また、収穫体験や農業体験を通じた食農教育を推進し、農業への理解と関心を高めます。

さらに、農福連携による多様な担い手の活躍を支援するとともに、八王子産農畜産物のブランド化を推進し、市民・農業者・事業者が連携して地域農業の魅力向上と活性化を目指します。

3 将来像実現のための施策展開

農業の振興は、農地が保全され、農業経営が産業として展開されることが前提となります。

農業が市民生活に果たす多面的な機能を明確に位置付け、農業者・市民・行政・関係機関・団体等との連携のもと、好循環を生み出す活力ある都市農業をめざして将来像を実現するため、次の4つの柱を設け、施策を展開していきます。

（1） 意欲ある農業者の育成と確保

① 認定農業者など意欲ある農業者への支援
② ライフステージに応じた農業者への支援
③ 若手農業者や新規就農者への支援
④ 新たな担い手の育成
⑤ 農家子弟の支援
⑥ 新たな支え手の確保・育成

（2） 農地の保全と活用促進

① 生産緑地の保全
② 市街化調整区域（農業振興地域・農用地区域）の保全
③ 遊休農地の活用促進
④ 計画的な農業基盤整備の実施
⑤ 農業用水路の保全
⑥ 農地の多面的な機能活用
⑦ 鳥獣害対策の強化
⑧ 気候変動・安全対策

（3） 持続可能な農業生産と付加価値農業・地産地消の推進

① 新鮮で安全安心な農産物の供給
② 環境保全型農業の推進
③ 道の駅八王子滝山の活用促進
④ 6次産業化への取り組み
⑤ 学校給食などへの利用拡大の推進
⑥ 個人直売所への支援
⑦ 各種農業体験の実施を通した食農教育の推進
⑧ ブランド化の推進
⑨ 東京型スマート農業の推進

（4） 地域で共創する農業の推進

① 市民の農への参加の促進
② 体験農園や観光農園の普及
③ 各種農業体験の実施を通した食農教育の推進（再掲）
④ 農福連携の推進
⑤ ブランド化の推進（再掲）
⑥ 東京型スマート農業の推進（再掲）

4 将来指標

八王子農業の将来像である「好循環を生み出す活力ある都市農業」の実現に向け、その達成状況を総合的に把握するための将来指標を設定します。将来像の実現には、農業生産の基盤である農地及び担い手の維持・確保が必要となるため、認定農業（新規就農）者率、農地集積率、農産物売上額などを将来指標として定め、これらの目標達成に向けて各種施策を計画的かつ効果的に推進するとともに、その成果と進捗状況を検証します。

（1）成果指標

将来指標	単位	現状値（R7年度末）	目標値	第3次計画との関係
認定農業（新規就農）者率	%	14.9	28.8	【継承・統合】 意欲ある担い手の確保を評価
農地集積率	%	19.2	37.3	【継承・統合】 農地保全・活用の視点を集積率で評価
農産物売上額	百万円	2,465	3,000	【継承・統合】 経営安定の視点を継承し、売上額で評価
市民等と活動している農業者の割合	%	10.4	26.1	【新規】 地域の支え手の視点を加え、市民等の参加を評価

（2）主な個別指標

将来指標	単位	現状値（R7年度末）	目標値	第3次計画との関係
農地貸借件数	件	80	200	【個別指標化】＜柱2③＞ 農地の賃借の進捗を把握
学校給食センターへの登録農家数	件	55	75	【新規】＜柱3⑤＞ 給食での地場産農産物の利用拡大に向け、 供給を担う登録農家の広がりを把握
スマート農業関連取組件数	件	2	100	【新規】＜柱3⑨＞ 技術の進展を踏まえ、省力化・生産性向上に 向けた導入・活用の広がりを把握
農福連携従事時間	時間	575	1,200	【新規】＜柱4④＞ 障害者が無理なく継続して農業活動に参加できる 環境整備の進展や受入機会の拡大状況を把握